＊＊2026年 2月(第8版)
＊2022年10月(第7版)

認証番号：224AABZX00163000

機械器具 62　歯科用切削器
管理医療機器　歯科用多目的超音波治療器　70719000
（歯面研磨材 70904000）

特定保守管理医療機器　キャビトロン　ジェット　プラス　タップオン

再使用禁止（ディスポーザブルチップ（ソフチップ）のみ）

【禁忌・禁止】

1. 本機器は磁歪型超音波を発生するため、マグネットの影響を受ける心臓ペースメーカーや除細動器などの埋め込み型医療機器を患者及び術者が装着しているときは、本機器が影響する可能性があるため、使用しないこと。
2. 塩分摂取制限中の患者は使用しないこと。（キャビトロンプロフィジェットクリーニングの場合）
3. 呼吸器疾患の患者、又はクリーニングパウダーに含まれる成分に対しアレルギー、発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある患者にはクリーニングパウダーを使用しないこと。
4. アマルガム圧接を伴う修復処置には使用しないこと。
5. ディスポーザブルチップ（ソフチップ）は再使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

本機器は多目的に用いるマグネット式超音波治療器で、ハンドピース内部のコイルの励磁によって形成された電磁場により超音波振動を発生させ、歯石・歯垢除去、根管拡大、歯科充填物の形態修正、不良歯肉の掻爬を行う機能と、パウダー水流を含んだエアーによるポリッシング機能を一体化したものである。
ハンドピースに水を供給する機能を持ち、歯石除去部の洗浄を同時に行う。

本体外観：

構成：本機器は、下記により構成されている。

1. 本体
2. タップオン ワイヤレスフットペダル（補助ケーブル付）
3. 水ホース（フィルター付）
4. エアーホース（フィルター付）
5. ハンドピース
6. エアーポリッシング用インサート
7. クリーニングパウダー
8. スケーリング用超音波インサート

スケーリング用超音波インサートの種類
FSI ﾊﾟﾜｰﾗｲﾝ型ｲﾝｻｰﾄ、FSI ﾊﾟﾜｰﾗｲﾝ型ﾌｨｯﾄｸﾞﾘｯﾌﾟｲﾝｻｰﾄ、ｽﾘﾑﾗｲﾝ型ｲﾝｻｰﾄ、FSI ｽﾘﾑﾗｲﾝ型ｲﾝｻｰﾄ、FSI ｽﾘﾑﾗｲﾝ型ﾌｨｯﾄｸﾞﾘｯﾌﾟｲﾝｻｰﾄ、TFI 型ｲﾝｻｰﾄ、ｲﾝﾌﾟﾗﾝﾄ用ｲﾝｻｰﾄ、ｼﾝｻｰﾄ、ｼﾝｻｰﾄﾌｨｯﾄｸﾞﾘｯﾌﾟ

9. ディスポーザブルチップ（ソフチップ）

［付属品］

- AC 電源コード
- 交換用水フィルター
- 交換用エアーフィルター
- エアーポリッシング用清掃ワイヤー
- ハンドピース用清掃ワイヤー
- パウダー容器
- デュアルセレクト ディスペンシング システム
- インサートインジケーターカード
- インプラント用インサートレンチ
- 電池(4 個入り)

電気的定格：
電源電圧：100－240VAC
周波数：50/60 Hz
電源入力：80VA
保護の形式：クラス I 機器
保護の程度：B 形装着部

該当規格：JIS T 5750

振動数：	18,000～60,000Hz
振幅（負荷）：	200μm を超えない
振幅（無負荷）：	200μm を超えない
冷却液の供給：	50mL/min 未満
騒音ﾚﾍﾞﾙ：	70dBA 以下
清掃用水の供給量：	30mL/min 以上
清掃用空気の供給量：	5L/min 以上
清掃用粉体の吐出量：	0.5g/min 以上

材質：

ｽｹｰﾘﾝｸﾞ用超音波ｲﾝｻｰﾄ ｴｱｰﾎﾟﾘｯｼﾝｸﾞ用ｲﾝｻｰﾄ	ｽﾃﾝﾚｽ鋼
ﾃﾞｨｽﾎﾟｰｻﾞﾌﾞﾙﾁｯﾌﾟ（ｿﾌﾁｯﾌﾟ）	ﾎﾟﾘｻﾙﾎﾝ
ｷｬﾋﾞﾄﾛﾝﾌﾟﾛﾌｨｼﾞｪｯﾄｸﾘｰﾆﾝｸﾞ	炭酸水素ﾅﾄﾘｳﾑ、ｻｯｶﾘﾝﾅﾄﾘｳﾑ、香料（ﾐﾝﾄﾌﾚｰﾊﾞｰ）
ｼﾞｪｯﾄﾌﾚｯｼｭﾊﾟｳﾀﾞｰ	水酸化ｱﾙﾐﾆｳﾑ、香料（ﾐﾝﾄﾌﾚｰﾊﾞｰ）

【使用目的又は効果】

超音波を利用して歯垢若しくは歯石の除去、歯の根管の拡大、洗浄若しくは清掃、異物等の除去、歯周組織の切開若しくは切除、又は歯面の研磨及び清掃に用いる。

【使用方法等】

使用前に取扱説明書をよくお読みください。
準備：
取扱説明書に記載のシステムの設置を完了し、メインスイッチを ON にします。メインスイッチを入れると電源ランプが点灯します。

1. デュアルセレクトディスペンシングシステムへ接続する場合：
(1) デュアルセレクトディスペンシングシステムのエアーライン接続部(IN)とエアー供給源を接続します。必要に応じて、デュアルセレクトディスペンシングシステムの水ライン接続部(IN)と水供給源を接続します。
(2) 本体の水ホースを本体の水ホース接続部とデュアルセレクトディスペンシングシステムの水ライン接続部(OUT)に接続します。
(3) 本体のエアーホースを本体のエアーホース接続部とデュアルセレクトディスペンシングシステムのエアーライン接続部(OUT)に接続します。

2. 歯科用ユニットへ接続する場合：
(1) 本体の水ホースを本体の水ホース接続部と既承認又は既認証の歯科用ユニットの水供給源に接続します。
(2) 本体のエアーホースを本体のエアーホース接続部と既承認又は既認証の歯科用ユニットのエアー供給源に接続します。

3. タップオン ワイヤレスフットペダルの接続：
無線機能を使用しない場合は、本体のタップオン ワイヤレスフットペダル補助ケーブル接続部と、タップオン ワイヤレスフッ

取扱説明書を必ずご参照ください。

AK007

トペダルの補助ケーブル接続部に補助ケーブルを接続します。

スケーリングを行う場合：
1. タップオンモードを使用する場合：
(1) 症例に適したインサートを選んでハンドピースに装着します。このとき取扱説明書に記載の方法で、必ずハンドピース内部のエアーを抜取ってください。
(2) ハンドピースの根本にある水量コントローラー（水量調節部）を回し水量を調節します。洗浄水がインサートチップの先端まできていることを確認してください。本機器は適温の洗浄水が出るようになっています。流水量を多くすると洗浄水の温度が下がります。
(3) タップオン ワイヤレスフットペダルをタップすると約4分間本機器が作動します。再度タップオン ワイヤレスフットペダルをタップすると本機器が停止します。タップオンモードで十分な除石ができない場合はタップオン ワイヤレスフットペダルを深く踏み込んだ状態で保持すると自動的にパワーアップし、ブースト機能が作動します。
(4) 施術中には歯科用ユニットの排唾管やバキュームを用いて口腔内の水、唾液などを吸引してください。

2. タップオンモードを使用しない場合：
(1) 本体のパージモードボタンとターボモードボタンを同時に 5 秒程度押し、タップオンモードを無効にします。
(2) 1. タップオンモードを使用する場合における手順(1)～(2)を行い、ハンドピース及びインサートを準備します。
(3) タップオン ワイヤレスフットペダルを 1 段階軽く踏んだ状態で操作を行います。この状態で十分な除石ができない場合はタップオン ワイヤレスフットペダルをもう 1 段階さらに深く踏み込むと自動的にパワーアップし、ブースト機能が作動します。
(4) 施術中には歯科用ユニットの排唾管やバキュームを用いて口腔内の水、唾液などを吸引してください。

3. インプラント用インサートを使用する場合：
(1) ディスポーザブルチップ(ソフチップ)をインプラント用インサートレンチに装着します。
(2) インプラント用インサートにディスポーザブルチップ(ソフチップ)を装着します。
(3) ソフチップがしっかり装着されていることを確認してから、1. タップオンモードを使用する場合における手順(1)を行い、ハンドピース及びインサートを準備します。
(4) 1. タップオンモードを使用する場合における(2)～(4)又は 2. タップオンモードを使用しない場合における(1)、(3)～(4)に従い、スケーリングを行います。

エアーポリッシングを行う場合：
1. タップオンモードを使用する場合：
(1) エアーポリッシング用インサートをハンドピースに装着し、チップから噴出する洗浄水の水量を調節します。
(2) 専用のクリーニングパウダーをパウダーボウルに充填してください。
(3) タップオン ワイヤレスフットペダルをタップすると約1分間本機器が作動し、洗浄水及びパウダーを含んだ洗浄水が繰り返し噴出します。再度タップオン ワイヤレスフットペダルをタップすると本機器が停止します。
(4) 取扱説明書の使用術式に従って、エアーポリッシングを行ってください。

2. タップオンモードを使用しない場合：
(1) 本体のパージモードボタンとターボモードボタンを同時に 5 秒程度押し、タップオンモードを無効にします。
(2) 1. タップオンモードを使用する場合における手順(1)～(2)を行い、ハンドピース及びインサートを準備します。
(3) タップオン ワイヤレスフットペダルを 1 段階、軽く踏み込んだ状態で洗浄水の流水機能が作動します。もう 1 段階さらに深く踏み込むとパウダーを含んだ洗浄水が噴出します。
(4) 取扱説明書の使用術式に従って、エアーポリッシングを行ってください。

清掃、消毒、滅菌：
初回使用前および使用後、取扱説明書に従って行うこと。

［使用方法等に関連する使用上の注意］
1. チェアーのバックレストは他の歯科治療と同様に適切な位置で行うこと。
2. 治療前に、患者にグルコン酸クロルヘキシジン、過酸化水素、ポビドンヨード、およびエッセンシャルオイルなどを含む含嗽薬で含嗽することは、エアゾール中の微生物減少につながる可能性がある。
3. インサートをハンドピースに装着する前に、ハンドピース内に水を満たし、O リングを水で濡らしておくこと。
4. 使用中のインサートが患者の口唇や口腔内粘膜等に接触しないように注意すること。
5. フィルターの目詰まり及び故障の原因になるので、必ず専用のクリーニングパウダーを使用すること。
6. エアーポリッシングの流水及びクリーニングパウダーは歯肉又は歯肉溝へ直接噴射しないこと。また、象牙質又はセメント質への使用は避けること。
7. クリーニングパウダーは修復物のマージン部及び表面には直接噴射しないこと。また、長時間使用しないこと。
8. 治療中、術者以外の者がタップオン ワイヤレスフットペダルを踏まないように、特に注意すること。
9. 治療中、インサートから水流が確認されない場合、ハンドピースが過熱する可能性があるので注意すること。また、不十分な水流は、水温やチップの温度上昇につながるので注意すること。水、チップの温度が 50℃を超えないこと。
10. デンツプライシロナ社製のインサート、クリーニングパウダー、同梱されている AC アダプター、AC 電源コードを使用すること。
11. 治療中に HVE（High Volume Evacuation）の使用を推奨する。

【使用上の注意】
重要な基本的注意
1. 本機器と他の機器を接続して使用する際は、安全性の確認された機器に接続すること。
2. 本機器を設置するときには、次の事項に注意すること。
・ 水のかからない場所及び高温にならない場所に設置すること。
・ 温度、湿度、ほこり、塩分、硫黄などを含んだ空気などにより、悪影響の生ずるおそれのない場所に設置すること。
・ 風通しのよい場所に設置すること。
・ 傾斜のない、また振動衝撃などのかからない場所に安定な状態にして、設置すること。
・ 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所、熱を発生する場所やラジエータ付近に設置しないこと。
・ 電源の周波数と電圧、及び許容電流値に注意すること。
・ 本機器への送水は 25℃以下とし、送水圧は 20 psig（138 kPa）～40 psig（275 kPa）の範囲で行うこと。
・ 本機器への送風圧は 65 psig（448 kPa）～100psig（690 kPa）の範囲で行うこと。
3. 使用時にはスイッチの接触状態などの点検を行い、本機器が正確に作動することを確認すること。
4. 使用時には全てのコード及びホースの接続が正確でかつ、安全であることを確認すること。
5. 本機器全般及び患者に異常のないことを絶えず監視すること。
6. 本機器及び患者に異常が発見された場合には、患者に安全な状態で本機器の作動を止めるなど適切な措置を講ずること。
7. 本機器に患者が触れることのないよう注意すること。
8. 定められた手順により操作スイッチ、ダイヤルなどを使用前の状態に戻したのち、電源を切ること。
9. コード類の取り外しに際しては、コードを持って引き抜くなど無理な力をかけないこと。
10. 使用後は、残ったパウダーをパウダー容器に廃棄して、取扱説明書に従って清掃すること。
11. 故障したときは勝手に修理せず、専門業者に任せること。
12. インサートチップにたわみ、変形、損傷があると使用中に破損の恐れがあるので、直ちに新しいものに交換すること。
また、腐食しているものは使用しないこと。濡れたまま保管すると、汚れ、腐食、詰まりの原因になるため注意すること。
13. インサートチップは磨耗するため、インサートインジケーターカードで確認し、2mm 磨耗したら新しいものに交換すること。

14. 滅菌したインサートは使用直前まで滅菌バックの中で保管すること。
15. 感染予防のため、使用後の清掃、消毒、滅菌は取扱説明書に従って十分行うこと。
16. 本品を使用する際は、一般的な予防措置（マスク、保護めがね、フェイスシールド、保護衣、グローブ等を着用）を行うこと。
17. 本機器を廃棄する際には各自治体の規則に従うこと。

【保管方法及び有効期間等】

［保管の条件］

(1) 水のかからない場所に保管すること。
(2) 温度、湿度、ほこり、塩分、イオウ分などを含んだ空気などにより、悪影響の生ずるおそれのない場所に保管すること。
(3) 風通しのよい場所に保管すること。
(4) 傾斜のない、振動衝撃などのかからない場所に安定な状態にして、保管すること。
(5) 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所およびラジエータや熱を発生する場所に保管しないこと。
(6) クリーニングパウダーは高温多湿を避けて保管すること。
(7) 本機器は歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

［有効期間］

クリーニングパウダーは、容器に記載の有効期間までに使用すること。
（記載の有効期間は製造業者データによる）

【保守・点検に係る事項】

［使用者による保守点検事項］

No	点検内容	点検頻度
1	パウダーの確認	始業前／患者ごと
2	パージ機能の確認	始業前／患者ごと／終業後
3	本体、パワーコード、ハンドピースケーブル、フットペダル、ケーブル類（必要に応じて）、給水ライン、エアーラインの清掃と消毒	患者ごと／終業後
4	ハンドピースケーブルの損傷の確認	患者ごと／終業後
5	水量の確認	患者ごと／終業後
6	パウダーボウルの清掃	終業後
7	給水ラインのバルブを閉める	終業後
8	給水ラインのフィルター交換	毎月（または必要に応じて）
9	エアーラインフィルターの清掃	毎月
10	エアーラインフィルターの交換	毎月（または必要に応じて）
11	パウダーボウルの機能確認	毎月
12	摩耗インジケータを使用してインサートの摩耗を確認する。	定期的

詳細は取扱説明書を確認すること。

1. 本機器及び部品は必ず定期点検を行うこと。
2. しばらく使用しなかった本機器を再使用するときには、使用前に本機器が正常に、かつ安全に作動することを確認すること。
3. 感染予防のため、初回使用前、使用後の清掃、消毒、滅菌は取扱説明書に従って行うこと。洗浄剤は中性洗浄剤を使用し、アルカリ性や酸性の使用は避けること。使用する洗浄剤、消毒剤の取扱説明書を参照すること。機器の表面に直接消毒液をスプレーすることは避けること。自動洗浄/自動消毒できる機器は自動を推奨する。その際、温度が 137℃を超えないこと。
4. インサート及びハンドピースは滅菌バッグに入れ、初回使用前及び再使用の際に必ず高圧蒸気滅菌を行うこと。その際温度は137℃を越えないこと。滅菌条件は以下のとおり。エアーポリッシング用インサートは、プレバキューム式 132℃、3 分で滅菌すること。

	滅菌方式	温度	保持時間
インサート	加圧パルス式	132℃	3 分
	プレバキューム式	132℃	3 分
	重力置換式	132℃	10 分
ハンドピース	プレバキューム式、又は加圧パルス式	132℃	3 分

5. 滅菌したインサートおよびハンドピースは、使用直前まで滅菌バッグの中で保管すること。
6. エアーポリッシング用インサートは、使用後、必ず専用のエアーポリッシング用清掃ワイヤーで清掃してから滅菌を行うこと。
7. ハンドピース、インサートを乾燥させるには、滅菌器の乾燥サイクルを使用し、乾燥サイクルの時間は、20～30 分を設定すること。

［業者による保守点検事項］

保守点検の依頼に関しては、弊社エンジニアリングサービスまで連絡すること。

****【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

* 製造販売業者　デンツプライシロナ株式会社
住所　東京都中央区銀座八丁目 21 番 1 号
住友不動産汐留浜離宮ビル
製造国　アメリカ合衆国
製造業者　デンツプライ プロフェッショナル社
DENTSPLY Professional

［問い合わせ窓口］

カスタマーサービス
電話番号 0120-667-467